

蓄電池 先端生産技術導入・開発促進事業事務局長 殿

申請者 住所

氏名 (法人の名称)
(代表者の役職・氏名)

【書き方ガイド】
共同申請の場合は、代表申請者名を記載してください。
各項目については、事業全体としての取組・対応方針について記載ください。

補助事業の詳細

補助事業の名称: _____

1. 補助事業による生産品の用途(申請するものにチェック)

- ☐ 乗用自動車(軽自動車を除く)用 車載用(駆動用)蓄電池
☐ 軽自動車/重量車用 車載用(駆動用)蓄電池
☐ 定置用蓄電池

【書き方ガイド】
1. でチェックした項目に対応した部分について、記入をしてください。

2. 設備投資の内容

(1) 乗用自動車(軽自動車を除く)用 車載用(駆動用)蓄電池

(イ) 設備投資の内容

【書き方ガイド】
設備投資の概要について、①国際競争力の観点からの優位性・PRポイント(技術面、規模面、生産性等)、②国内電池サプライチェーンの強靱化の観点からの重要性等に言及しつつ、簡潔に記載してください。(5~10行程度)

(ロ) 補助事業による生産品の名称

【書き方ガイド】
生産品の特徴を表現した一般的な名称で記載ください(ブランド名・商品名ではない)。

(ハ) 補助事業による生産品の先進性(①または②のいずれかに記載)

① 生産する蓄電池セルの形状・性能等

外装形状	体積エネルギー密度	正極ニッケル比率	外装缶の外寸
角型の缶	Wh/L	%	
ラミネート	Wh/L	%	
円筒形の缶	Wh/L		直径 mm × 高さ mm

※申請するものに記入

※角型缶・ラミネートの場合、500Wh/L以上かつ正極ニッケル比率5割超であること

※円筒形缶の場合、650Wh/L以上かつ直径21mm×高さ70mmよりいずれも大型であること

② 普及している蓄電池との内部構造の違いおよび技術的優位性

(二) 補助を受けて導入する設備の生産性

【書き方ガイド】

生産性の定義は、「償却費＋直接労務費＋エネルギーコスト」に対する生産物の割合としています(コスト計算については試算で可)。

この生産性が、既存の生産ラインより向上していることを説明ください(比較すべき既存の生産ラインがない場合、設備の最先端性を説明することで代替可)

説明にあたっては、生産性に関する計算式および計算結果を合わせて示してください。

(ホ) 投資規模

・投資する設備の1ライン当たりの生産能力： _____ GWh/年

※1ライン当たりの生産能力が1 GWh/年 以上であること

・投資する設備のライン数： _____ ライン

・年間の総生産能力： _____ GWh/年

(ヘ) 設備の転用可能性

① 設備投資完了後の技術トレンドの変化への対応

② 設備投資完了後のイノベーション・生産性向上への取組

③ 定置用蓄電池の生産への転用可能性についての説明

(2) 軽自動車/重量車用 車載用(駆動用)蓄電池

(イ) 設備投資の内容

【書き方ガイド】

設備投資の概要について、①国際競争力の観点からの優位性・PRポイント(技術面、規模面、生産性等)、②国内電池サプライチェーンの強靱化の観点からの重要性等に言及しつつ、簡潔に記載してください。(5～10行程度)

(ロ) 補助事業による生産品の名称等

(ハ) 補助事業による生産品の先進性(①～③のいずれかに記載)

① 生産する蓄電池セルの形状・性能等

外装形状	体積エネルギー密度	正極ニッケル比率	外装缶の外寸
角型の缶	Wh/L	%	
ラミネート	Wh/L	%	
円筒形の缶	Wh/L		直径 mm × 高さ mm

※申請するものに記入

※角型缶・ラミネートの場合、500Wh/L 以上かつ正極ニッケル比率5割超であること

※円筒形缶の場合、650Wh/L 以上かつ直径 21mm×高さ 70mm よりいずれも大型であること

② 普及している蓄電池との内部構造の違いおよび技術的優位性

③ 生産品の最先端性（要件 A 技術要件（1）（2）以外の電池を生産する場合）

（二） 補助事業による設備の生産性

（ホ） 投資規模

- ・ 投資する設備の 1 ライン当たりの生産能力： _____ GWh／年
※ 1 ライン当たりの生産能力が 1 GWh／年 以上であること
- ・ 投資する設備のライン数： _____ ライン
- ・ 年間の総生産能力 : _____ GWh／年

（ヘ） 設備の転用可能性

① 設備投資完了後の技術トレンドの変化への対応

② 設備投資完了後のイノベーション・生産性向上への取組

③ 定置用蓄電池の生産への転用方法

（3） 定置用蓄電池

（イ） 設備投資の内容

※投資のポイント、技術的先進性、競争優位性など

【書き方ガイド】

設備投資の概要について、①国際競争力の観点からの優位性・PR ポイント（技術面、規模面、生産性等）、②国内電池サプライチェーンの強靱化の観点からの重要性等に言及しつつ、簡潔に記載してください。（5～10 行程度）

（ロ） 補助事業による生産品の名称等

【書き方ガイド】

生産品の特徴を表現した一般的な名称で記載ください（ブランド名・商品名ではない）。

(ハ) 補助事業による生産品の先進性 (①～③のいずれかに記載)

① 生産する蓄電池セルの形状・性能等

外装形状	体積エネルギー密度	正極ニッケル比率	外装缶の外寸
角型の缶	Wh/L	%	
ラミネート	Wh/L	%	
円筒形の缶	Wh/L		直径 mm × 高さ mm

※申請するものに記入

※角型缶・ラミネートの場合、500Wh/L 以上かつ正極ニッケル比率5割超であること

※円筒形缶の場合、650Wh/L 以上かつ直径 21mm × 高さ 70mm よりいずれも大型であること

② 普及している蓄電池との内部構造の違いおよび技術的優位性

③ 生産品の最先端性 (要件A技術要件(1)(2)以外の電池を生産する場合)

(二) 補助事業による設備の生産性

【書き方ガイド】

生産性の定義は、「償却費＋直接労務費＋エネルギーコスト」に対する生産物の割合としています(コスト計算については試算で可)。

この生産性が、**既存の生産ラインより向上していることを説明**ください(比較すべき既存の生産ラインがない場合、設備の最先端性を説明することで代替可)

説明にあたっては、生産性に関する計算式および計算結果を合わせて示してください。

(ホ) 投資規模

投資する設備の生産能力： _____ MWh／年

※生産能力が 200 MWh／年 以上であること

(ヘ) 設備の転用可能性

① 設備投資完了後の技術トレンドの変化への対応

② 設備投資完了後のイノベーション・生産性向上への取組

3. 研究開発の内容

(1) 申請する研究開発投資の目的 (該当するもの全てにチェック)

- ☐ 設備投資補助を受けて導入する設備の生産性を更に向上させるための研究開発投資
- ☐ 設備投資補助を受けて導入する設備で生産する予定の生産物 (蓄電池) に関する研究開発投資
- ☐ 設備投資補助を受けて導入する設備を活用して行う新技術・次世代製品のための研究開発投資

(2) 研究開発計画において取り組むべき課題

【書き方ガイド】

生産工程の生産性向上、生産する製品の性能向上、生産に使用する資源のリスクマネジメント、生産する製品の市場投入などにおける課題を具体的に記載ください

(3) 研究開発計画において達成すべき目標

【書き方ガイド】

定量的な目標設定をしている場合は具体的に記載ください。

(4) 研究開発の方法（導入する機械装置の概要を含む）

(5) 研究開発体制

【書き方ガイド】

様式第1-8. 実施体制図の転記も可です。研究開発が円滑に実施できることが分かるよう必要に応じて追記して説明してください。

(6) 研究開発スケジュール

(7) 研究開発で生み出された知財・技術の管理方針及び管理体制

【書き方ガイド】

補助事業内で生み出された知財・技術の権利は100%事業者側に帰属しますが、補助事業の目的に従って、**管理方針および管理体制**がとれることを記載ください。

蓄電池 先端生産技術導入・開発促進事業事務局長 殿

申請者 住所

氏名 (法人の名称)
(代表者の役職・氏名)

【書き方ガイド】
共同申請の場合は、代表申請者名を記載してください。
各項目については、事業全体としての取組・対応方針について記載ください。

補助事業の詳細

補助事業の名称: _____

1. 設備投資の内容

- (1) 補助事業による生産品(材料・部材)の名称及び技術先進性を満たす蓄電池の該当するものに使用されることについての説明

【書き方ガイド】
生産品の特徴を表現した一般的な名称で記載ください(ブランド名・商品名ではない)。
特に、グレードの違いによって先進性要件を満たす蓄電池に使われることや、専用品であることを示す場合には、その説明も合わせて記載ください。

- (2) 設備投資の内容

【書き方ガイド】
設備投資の概要について、①国際競争力の観点からの優位性・PRポイント(技術面、規模面、生産性等)、②国内電池サプライチェーンの強靱化の観点からの重要性等に言及しつつ、簡潔に記載してください。(5~10行程度)

- (3) 補助を受けて導入する設備の生産性

【書き方ガイド】
生産性の定義は、「償却費+直接労務費+エネルギーコスト」に対する生産物の割合としています(コスト計算については試算で可)。この生産性が、既存の生産ラインより向上していることを説明ください(比較すべき既存の生産ラインがない場合、設備の最先端性を説明することで代替可)

説明にあたっては、生産性に関する計算式および計算結果を合わせて示してください。

- (4) 投資規模

投資する設備の生産能力(蓄電池相当※): _____ GWh/年

※生産能力が蓄電池1 GWh/年 相当以上であること

- (5) 設備の転用可能性

- (イ) 設備投資完了後の技術トレンドの変化への対応

(ロ) 設備投資完了後のイノベーション・生産性向上への取組

(7) 蓄電池専用品以外のものが生産可能かどうか

☐ はい ☐ いいえ

※「はい」の場合

【生産可能な材料・部材の名称】

【蓄電池専用品以外の材料・部材も生産可能な設備投資が必要であることの合理的な理由】

【年間のうち蓄電池専用品の生産に設備を供する時間の割合の見込み】

2. 研究開発投資の内容

(1) 申請する研究開発投資の目的（該当するもの全てにチェック）

- ☐ 設備投資補助を受けて導入する設備の生産性を更に向上させるための研究開発投資
- ☐ 設備投資補助を受けて導入する設備で生産する予定の生産物（材料・部材）に関する研究開発投資
- ☐ 設備投資補助を受けて導入する設備を活用して行う新技術・次世代製品のための研究開発投資

(2) 研究開発計画において取り組むべき課題

【書き方ガイド】

生産工程の生産性向上、生産する製品の性能向上、生産に使用する資源のリスクマネジメント、生産する製品の市場投入などにおける課題を具体的に記載ください

(3) 研究開発計画において達成すべき目標

【書き方ガイド】

定量的な目標設定をしている場合は具体的に記載ください。

(4) 研究開発の方法（導入する機械装置の概要を含む）

(5) 研究開発体制

【書き方ガイド】

様式第1-8. 実施体制図の転記も可です。研究開発が円滑に実施できることが分かるよう必要に応じて追記して説明してください。

(6) 研究開発スケジュール

(7) 研究開発で生み出された知財・技術の管理体制

【書き方ガイド】

補助事業内で生み出された知財・技術の権利は100%事業者側に帰属しますが、補助事業の目的に従って、**管理方針および管理体制**がとれることを記載ください。

蓄電池 先端生産技術導入・開発促進事業事務局長 殿

申請者 住所

氏名 (法人の名称)
(代表者の役職・氏名)

【書き方ガイド】
共同申請の場合は、代表申請者名を記載してください。
各項目については、事業全体としての取組・対応方針について記載ください。

補助事業の詳細

補助事業の名称: _____

1. 設備投資の内容

(1) 設備投資の内容および先進性

【書き方ガイド】
設備投資の概要について、①国際競争力の観点からの優位性・PRポイント(技術面、規模面、生産性等)、②国内電池サプライチェーンの強靱化の観点からの重要性等に言及しつつ、簡潔に記載してください。

特に、リチウムイオン電池材料としての十分な品質を有するリサイクル品となっていることの説明、設備の運用方針(品質を確保するための運用上の工夫等)を含む形で記載をしてください。

(2) 投資規模

廃電池換算での処理量: _____トン/年

※廃電池(パック)換算での処理量が年間1,000トン/年以上であること

※車載用/定置用の廃リチウムイオン電池の処理が可能な設備であること

【書き方ガイド】
補助事業の対象となる設備における、車載用・定置用の廃リチウムイオン電池が処理可能な能力を記載ください

(3) 設備の転用可能性

(イ) 設備投資完了後の技術トレンドの変化への対応

(ロ) 設備投資完了後のイノベーション・生産性向上への取組

2. 研究開発投資の内容

(1) 申請する研究開発投資の目的(該当するもの全てにチェック)

- ☐ 設備投資補助を受けて導入する設備の生産性を更に向上させるための研究開発投資
- ☐ 設備投資補助を受けて導入する設備で生産する予定の生産物(リサイクルによって生み出される材料)に関する研究開発投資

☐ 設備投資補助を受けて導入する設備を活用して行う新技術・次世代製品のための開発投資

(2) 研究開発計画において取り組むべき課題

【書き方ガイド】

生産工程の生産性向上、生産する製品の性能向上、生産に使用する資源のリスクマネジメント、生産する製品の市場投入などにおける課題を具体的に記載ください

(3) 研究開発計画において達成すべき目標

【書き方ガイド】

定量的な目標設定をしている場合は具体的に記載ください。

(4) 研究開発の方法（導入する機械装置の概要を含む）

(5) 研究開発体制

【書き方ガイド】

様式第1-8. 実施体制図の転記も可です。研究開発が円滑に実施できることが分かるよう必要に応じて追記して説明してください。

(6) 研究開発スケジュール

(7) 研究開発で生み出された知財・技術の管理体制

【書き方ガイド】

補助事業内で生み出された知財・技術の権利は100%事業者側に帰属しますが、補助事業の目的に従って、**管理方針および管理体制**がとれることを記載ください。